

所属	研究科	専攻	課程	修了年度	2024 年度
氏名	伊藤美奈子			指導教員 (主査)	大嶋 玲未

論文題目	看護師の離職意図の生起メカニズム ——仕事の要求度—資源モデルの健康障害プロセスに注目して——
------	--

本文概要

【問題・目的】看護師は、業務量の多さや多職種間での連携の必要性といった職務の性質上、疲労やストレスが問題視されやすい。特に職場で中心的な役割を担うことが多い中堅看護師では、看護実践、後輩への指導等で期待される役割を果たせない時に生じる役割ストレスが問題となりやすく、役割ストレスと役割業務負担感が高くなると、離職意図が高まることが示されている（瀬川・石井, 2010）。また Demerouti et al.(2009)では、多くの業務量に直面した看護師は、1年半後に高いレベルのバーンアウトを起こし、時間の経過とともにより多くの仕事上の要求を認識することが報告されている。しかし、これらの複数の要因間の関連性まで加味した看護師の離職意図の生起メカニズムは検討されていない。本研究では、仕事の要求度—資源モデル（Job Demands-Resources model, 以下 JD-R モデルと略記）の「健康障害プロセス」に基づき、看護師のストレスによる離職意図の生起メカニズムについて仮説モデルを構築し明らかにすることを目指す。以下を仮説とする。1) 役割業務負担感 は 役割ストレス、バーンアウトに正の影響を及ぼす。2) 役割ストレス、バーンアウトは離職意図に正の影響を及ぼす。3) 役割ストレス、バーンアウトはセルフ・アンダーマイニングに正の影響を及ぼす。また副次的な目的の一つとして、セルフ・アンダーマイニングが、時間が経過した役割業務負担感に正の影響を及ぼすかを交差遅延モデルで検討する。

【方法】調査対象者：関東圏の急性期病院に勤務する臨床経験年数 4 年目以上の看護師または助産師（看護師長以上の役職者は除外）516 名。調査時期：2023 年 9 月—2024 年 9 月で約 6 ヶ月ごとに 3 回実施。質問紙の構成：①**仕事の要求度**：佐野他(2006)の役割ストレス認知測定尺度(27 項目 7 件法)②**ストレス**：(a)役割ストレス 佐野他(2006)の役割の持つ性質の評価(12 項目 5 件法)(b)バーンアウト 久保 (2007) 日本語版バーンアウト尺度(17 項目 5 件法)③**離職意向**：オリジナル(3 項目 5 件法)④**セルフ・アンダーマイニング**：Bakker & Wang (2020) The Self-Undermining Scale (6 項目 5 件法)⑦**フェイス項目** 性別、年齢、臨床経験年数、役職、専門学歴、役割、部署。

【結果・考察】共分散構造分析で仮説モデルを検証した結果、仮説 1—3 は支持された。仕事での高い要求度はそれに応じるための多大な努力を必要とし、その結果ストレスは高まり、疲労感やバーンアウトなどの負の影響を引き起こす（Schaufeli & Bakker, 2004）。特に臨床経験年数が 4 年目以上の看護師は部署内で一定の役割を担いやすいため、役割による負担感が大きく、ストレスとして認識されやすい可能性がある。またバーンアウトが離職意図を高めていたことは先行研究（Schaufeli & Bakker, 2004）の知見とも整合する。看護師は高度な専門知識や技術、患者や同僚とのコミュニケーションといった複数の能力の発揮が求められるため、役割ストレスが蓄積され、バーンアウトや離職意図も高まりやすいと考えられる。さらに、離職意図はあるものの職務を継続した看護師は、慢性的な心理的・身体的負荷から業務遂行能力が低下し、自ら新たな課題や問題を生み出すセルフ・アンダーマイニングに陥る可能性が示唆された。そうすると患者や医療に対して適切に対応できず、医療の質や安全性を低下させる可能性がある。また副次的な目的に関して、Time 1 セルフ・アンダーマイニングから Time 3（約 1 年後）の仕事の要求度を表す役割業務負担感へのパスは有意となった（ $\beta = .330, p < .05$ ）。セルフ・アンダーマイニングにより看護師の自己効力感は低下し、またストレスが増加することでエネルギーが枯渇し、一定期間後の役割業務負担感を高めたと考えられる（Bakker & Demerouti, 2017）。これらの結果から役割業務負担感 は 看護師に離職意図の促進をはじめとした負の影響を及ぼし、時間をかけて役割業務負担感を高める、負のスパイラルに陥る可能性が示された。現場では、看護師の役割分担の見直し、リーダーシップ育成の研修、業務の効率化、職場内での心理的支援体制の充実化等の施策を通じて、負担軽減を図ることが望まれる。